



審査結果報告書

平成 30 年 8 月 22 日

主 査 氏 名 福田 倫 也 

副 査 氏 名 石坂 郁代 

副 査 氏 名 高橋 香織子 

副 査 氏 名 東條 美奈子 

1. 申請者氏名 : DM12025 三浦 創

2. 論文テーマ :

発症前に独居生活していた脳卒中患者が独居退院するために必要な日常生活活動レベル

3. 論文審査結果 :

本学位論文では、高齢者の独居世帯数が年々増加している本邦の現状を踏まえて、脳卒中発症前に独居生活を送り、急性期治療後に回復期リハビリテーション病院へ転院した患者を対象に、再び独居による自宅退院が可能になるための因子に関して、身体機能及び日常生活活動レベルに焦点をあてて詳細に検討している。

その結果、患者の背景因子や退院時の身体機能で調整した後でも、能力低下の評価法として高く評価され、国際的に広く使用されている機能的自立度評価法（FIM）の退院時総項目、同運動項目、同認知項目が患者の独居退院を決定する有意かつ独立した指標であることが明らかになった。さらに本論文のユニークな点は、FIM の各項目に関して、独居退院が可能か否かを判別するカットオフ値を算出し、それらが同居人の有無に関わらず自宅退院した脳卒中患者を対象にした先行研究の数値より高く、かつ、福祉的支援の必要性がない独居高齢者を対象にした先行研究の数値より低かったと報告している点である。

本論文から得られた結果は、脳卒中発症前に独居生活していた患者の転帰先を予測する際や再び独居生活を送るための目標設定をする際に極めて重要であり、臨床的にも意義深い。以上より、博士（医学）の学位取得に相応しい論文と判断した。